

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(平成28年11月分)

平成28年12月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1. 国内情勢
 - (1) 国家レベル
 - (2) エンティティ、特別区
 - ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)
 - イ スルプスカ共和国(RS)
 - ウ ブルチュコ特別区
2. 外政
 - (1) 国際機関、フォーラム
 - (2) 要人往来、国際会議等
3. 経済
 - (1) 経済指標
 - (2) 経済政策、公的事業

(注: 以下は、現地紙など公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

● BH中央選挙管理委員会(CEC)が地方選挙の結果を確定(1日)

CECは、地方選挙中断中のストラツ市及び選挙が実施されなかったモスタル市を除く全ての市(municipality)における選挙結果を確定。スレブレニツァ市における選挙結果に対する異議申立ては棄却された。

● イバニッチBH大統領評議会議長の就任(17日)

イゼトベゴビッチBH大統領評議会ボシュニャク系メンバーに代わり、イバニッチBH大統領評議会セルビア系メンバーが、BH大統領評議会議長に就任。

BH大統領評議会議長は、3名のメンバーの間で、8か月ごとの輪番制をとっている。

● BH大統領評議会が「防衛レビュー」を採択(24日)

BH大統領評議会は、NATOの加盟行動計画(MAP)発行の条件の一つでもある「防衛レビュー」を、17年-27年BH軍近代化計画と共に採択した。

● BH中央選挙管理委員会がストラツ市の事件に関与した個人らの処罰を決定(24日)

BH中央選挙管理委員会は、10月2日の地方選挙時に、ストラツ市の選挙を中断する事態となった事件について、複数の市長及び市議会議員候補者の候補者登録の抹消と、地方選挙管理委員会メンバー3名の選挙プロセ

スへの4年間の関与禁止を決定した。

一方、ストラツ市における再選挙の実施に関する決定は行われなかった。

●グラバル＝キタロビッチ・クロアチア大統領が、BHの不安定をクロアチアへの脅威と見做す発言(29日)

オンライン誌「Defence News」のインタビューに対して、グラバル＝キタロビッチ・クロアチア大統領は、「BHの不安定」を、近隣におけるクロアチア最大の脅威と発言した。同大統領は、RSで9月25日に実施された住民投票について、「RSの独立も含む、一連の住民投票の最初のステップ」になり得ると称した。

(2)エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●チャバラBH連邦大統領の呼びかけにより、行政及び立法機関代表者による会合実施(21日)

チャバラBH連邦大統領(HDZ・BiH)の呼びかけで行われた会合には、ノバリッチBH連邦首相(SDA)、ドルリャチャ及びミリチェビッチ同副首相(SBB及びHDZ・BiH)、ドウノビッチ及びマフムトベゴビッチ同副大統領(DF及びSDA)、ムシッチ同下院議長(SDA)及びブラダラ同上院議長(HDZ・BiH)が参加し、BH連邦機関の機能と、EU加盟プロセスについて協議した。チャバラBH連邦大統領は、BH連邦機関がより効率的に行動し、連立与党内の分断を避けるべきと述べた。

イ スルプスカ共和国(RS)

●RS民族評議会のボシュニャク系議員団が「RSの日に関する法律」に対して拒否権を申立て(2日)

RS民族評議会のボシュニャク系議員団は、10月25日にRS国民議会が採択した「RSの日に関する法律」について、「民族の死活的利益(VNI)」に基づく拒否権の申立てのを開始することを決定した。

●RS内野党連合「改革のための連合」がRS内与党SNSDとの協力停止を発表(14日)

ドディックSNSD党首(RS大統領)が、地方選挙において野党が勝利した市に対して、RS政府は援助を提供しないと発言したとの情報に対して、「改革のための連合」参加政党党首らは、SNSDとの協力を今後一切行わないと宣言した。

ウ ブルチュコ特別区

●ミリッチ・ブルチュコ特別区長の選出(15日)

ブルチュコ特別区議会は、第一回会合で同特別区議会議長及び副議長を選出、そのうえで、ミリッチ同特別区長候補(SNSD)を会合に招き、同候補就任後の計画について聴取した。同議会において、出席した議員30名中、賛成24名、反対3名、棄権3名により、同候補が選出された。

2. 外政

(1)国際機関、フォーラム

●インツコ上級代表が国連安保理に対してBHにおける和平履行に関する第50回定期報告を提出(8日)

同報告は、16年4月16日から10月21日までのBH情勢について報告しており、特にRSにおける住民投票の決行を問題視する記述が見られた。

● 欧州委員会によるBHに関する16年報告書(9日)

ウイゲマルク駐BH・EU代表は、ズビズディッチBH閣僚評議会議長に対して、欧州委員会によるBHに関する16年報告書を手交。同報告書では、運輸戦略枠組の採択、13年国勢調査結果の公表、反差別法とEUアキとの適合等が、重要な進展として記載された。一方、公的行政の改革については進展が見られなかった旨が指摘された。

(2)要人往来、国際会議等

● 第5回中国・中東欧諸国「16+1」首脳会合の開催(於リガ)(5日)

同会合では「リガ・ガイドライン」が採択され、「16+1」協力の促進やパートナーシップの構築、EU及び中国間包括的戦略パートナーシップとの相乗効果発揮に向けた意思が確認された。同ガイドラインには、BH関連事項として、17年4月のモスタル・フェア会期中に「16+1」農産品及びワイン・フェアと、17年にサラエボにおいて第4回観光協力に関する「16+1」ハイレベル会議の開催が盛り込まれた。

同会合には、BHからズビズディッチ閣僚評議会議長が出席し、現地で李克強中国国務院総理との会談も行った。李中国国務院総理からは、BHとの経済協力促進への関心が伝えられた。また、ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、中国との、外交・公用・公営企業関係者用旅券の査証免除に関する合意に署名した。

● イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長のブリュッセル訪問、トウスク欧州理事会議長との会談(8日)

イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長は、

BHによるEU加盟に向けた進展や、BH及び西バルカン地域が直面している課題について伝えた。トウスク欧州理事会議長は、BHによるこれまでの進展を歓迎した。両名は、EUと西バルカン地域間の協力体制の深化の必要性に合意し、この点においてトウスク欧州理事会議長は、イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長によるEU・西バルカン間ハイレベル政治対話の提案を歓迎し、今後の検討を支持した。

イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長は、改革アジェンダ及びEU加盟プロセスへの取組を約束し、17年末までのEU加盟候補国の地位獲得への期待を表明した。

● チョービッチBH大統領評議会メンバーとクルスティチェビッチ・クロアチア副首相兼防衛相の会談(8日)

クルスティチェビッチ・クロアチア副首相兼防衛相がモスタル訪問し、チョービッチBH大統領評議会メンバーとの間で、最近の政治情勢や、オラシェにおける元クロアチア防衛評議会(HVO)メンバーら10名の逮捕について協議を行った。両名は、BHにおける司法制度の非政治化と中立性の重要性を確認した。また、両名はBHのEU及びNATO加盟プロセスを含む、両国間の協力について協議した。

● イバニッチBH大統領評議会議長のロンドン訪問、ジョンソン英外相との会談(17日)

イバニッチBH大統領評議会議長は、自身の大統領評議会議長としての8ヶ月の任期中に、未来志向の問題に取り組むと伝え、英国からの支持を求めた。両名は、17年中のロンドンにおけるBH投資会議開催への関心を表明した。会談中、イバニッチBH大統領評議会

議長は、懸案事項についてセルビア、クロアチア及びBHによる共同協議の機会を設けることの有益性について述べた。

●ライチャーク・スロバキア副首相兼外務・欧州問題相のBH訪問、BH大統領評議会らとの会談(22日及び23日)

ライチャーク・スロバキア副首相兼外務・欧州問題相とBH大統領評議会の会談において、両者はスロバキアとBHの二国間関係が友好的であり、懸案事項はなく、ハイレベルの往来も頻繁に行われていることを確認した。BH側からは、BHが17年中のEU加盟候補国の地位獲得を目指しており、引き続き改革アジェンダの履行、調整メカニズムの機能、安定化・連合協定(SAA)の履行が優先事項であることが伝えられた。また、両者は投資可能性拡大のためのビジネスミーティングの可能性について協議した。

ライチャーク・スロバキア副首相兼外務・欧州問題相は、訪問中、ズビズディッチBH閣僚評議会議長、ツルナダクBH外相及びドディックRS大統領らとも会談を行った。

3. 経済

(1) 経済指標

●GDP成長率

BH統計庁によると、16年第二四半期は、前年同時期と比較して、実質GDP成長率は1.4%となった。

●産業生産高

BH統計局の発表によると、16年10月の産業生産高は、16年9月と比較して、3.4%の上昇。

●雇用／失業者数

BH統計局の発表によると、16年9月のBH全体の雇用者数は733,261人。同月の失業者数は514,935人で失業率は41.3%となった。

●平均給与

BH統計局の発表によると、16年第三四半期のBHにおける平均給与(手取り)は838KM(約428ユーロ)となった。

●消費者物価指数

BH統計局の発表によると、16年10月の消費者物価指数は平均で前月比0.8%の増加。

●貿易額

BH統計局の発表によると、16年1月から10月のBHの輸出額は76億9,200万KM(約39億3,300万ユーロ)、輸入額は132億4,300万KM(約67億7,100万ユーロ)となった。

・輸出相手国上位5カ国(貿易額、16年1月から10月):①ドイツ(12億4,452万KM/約6億3,631万ユーロ)、②イタリア(9億3,181万KM/約4億7,643万ユーロ)、③クロアチア(8億200万KM/約4億1,006万ユーロ)、④スロベニア(6億6,079万KM/約3億3,786万ユーロ)、⑤セルビア(6億5,500万KM/約3億3,490万ユーロ) 参考:日本(98万3,000KM/約50万3,000ユーロ)

・輸入相手国上位5カ国(貿易額、16年1月から10月):①ドイツ(16億5,336万KM/約8億4,535万ユーロ)、②イタリア(15億4,846万KM/約7億9,172万ユーロ)、③セルビア(14億9,802万KM/約7億6,593万ユ

一口)、④クロアチア(13億1,586万KM/約6億7,279万ユーロ)、⑤中国(9億439万KM/約4億6,241万ユーロ) 参考:日本(7,748万KM/約3,961万ユーロ)

* 上記数値はいずれも原産国及び仕向国による算出。

●観光客数

BH統計局の発表によると、16年9月、BHにはのべ126,536人(うち日本からは493人)の観光客が訪れた(注:宿泊を伴った観光客の総計)。

●外国直接投資

BH経済計画局によると、16年上半期のBHにおける外国直接投資は1億9,400万KM(約9,919万ユーロ)で、前年同時期と比較して50%減。

(2)経済政策、公的事業

●IMFが拡大信用供与措置(EFF)の第一回レビューに関してBHと事務レベルの合意(22日)

IMFの代表団は、11月9日から22日までBHを訪問し、EFFの第一回レビューに関する協議を関係者で行い、事務レベルの合意に到達した。17年第一四半期中にIMF理事会によるレビューの検討が行われ、その承認を条件に、8,000万ユーロに及ぶ第二回支払が行われる。

イラヒIMF代表団長は、声明の中で、投資環境の向上、民間セクターの雇用創出及び成長能力の向上が最重要事項であると伝えた。同人は、労働市場の機能向上に向けて、BH当局が労働に関する税負担を取り除くよう取り

組み、新たな労働法規を履行しているとし、公営企業の再編及び民営化は、経済的ガバナンスと競争力の向上を助けるとの見方を示した。また、燃料に関する消費税の引き上げにより、高速道路「Vc回廊」建設費用の捻出が可能となると述べた。

(了)